

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

当社グループにおける当連結会計年度の設備投資は以下のとおりです。

セグメントの名称	設備投資の主な目的	投資金額（百万円）
機械事業 合計		2,519
産業機械	生産効率の向上	188
ロックドリル	生産効率の向上	1,799
ユニック	生産効率の向上	530
素材事業 合計		1,456
金属	生産効率の向上	510
電子	生産効率の向上	446
化成品	生産効率の向上	500
その他 合計		2,317
不動産	販売用不動産の整備	15
その他	生産効率の向上	2,301
合計		6,293

（注）投資金額には無形固定資産を含みます。

設備投資の所要資金は、自己資金および借入金によっています。

2【主要な設備の状況】

当社グループにおける主要な設備は、以下のとおりです。

(1) 提出会社

(2026年3月31日現在)

事業所名（所在地）	セグメントの名称	設備の内容	帳簿価額（百万円）						従業員数（人）
			建物及び構築物	機械装置及び運搬具	土地（面積千㎡）	リース資産	その他	合計	
本支店他 （東京都千代田区他）	不動産およびその他	販売、管理業務および研究開発設備	6,805	451	17,249 (243) <37>	2	256	24,764	185
事業所他 （栃木県日光市足尾町他）	その他	その他設備	1,669	1,004	4,353 (26,196) [588] <455>	1	166	7,195	22

- （注）1. 帳簿価額には、建設仮勘定の金額を含んでおりません。
2. 上記中〔外書〕は、連結会社以外からの賃借設備です。
3. 上記中<内書>は、連結会社以外への賃貸設備です。
4. 現在休止中の主要な設備はありません。
5. 「土地の再評価に関する法律」（平成10年3月31日公布法律第34号）および「土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律」（平成13年3月31日公布法律第19号）に基づき、事業用の土地の再評価を行い、土地再評価差額金を純資産の部に計上しております。
6. 土地面積は、土地課税台帳（名寄帳）により記載しております。

(2) 国内子会社

(2026年3月31日現在)

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	帳簿価額（百万円）						従業員数 (人)
				建物及び 構築物	機械装 置及び 運搬具	土地 (面積千 ㎡)	リース 資産	その他	合計	
古河産機システムズ ㈱	工場他 (栃木県小山 市他)	産業機械	一般産業機械 生産設備	2,493	1,050	6,991 (285) <0>	16	192	10,744	445 (13)
古河ロックドリル㈱	工場他 (群馬県高崎 市他)	ロックド リル	ロックドリル 生産設備	2,832	3,369	3,677 (141) <1>	122	304	10,306	535 (33)
古河ユニック㈱	工場他 (千葉県佐倉 市他)	ユニック	車両搭載型 クレーン 生産設備	4,220	2,001	4,173 (289) <1>	89	177	10,663	479 (4)
古河電子㈱	工場他 (福島県いわ き市他)	電 子	高純度金属 ヒ素他 生産設備	1,640	1,181	1,800 (179) <15>	84	110	4,817	179 (23)
古河ケミカルズ㈱	工場他 (大阪府大阪 市西淀川区 他)	化成品	硫酸、亜酸化 銅他 生産設備	800	1,559	13,039 (164) <26>	4	14	15,419	123 (1)

- (注) 1. 帳簿価額には、建設仮勘定の金額を含んでおりません。
2. 上記中〔外書〕は、連結会社以外からの賃借設備です。
3. 上記中<内書>は、連結会社以外への賃貸設備です。
4. 現在休止中の主要な設備はありません。
5. 従業員数の(外書)は、当連結会計年度における平均臨時雇用者数です。

(3) 在外子会社

(2025年12月31日現在)

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	帳簿価額（百万円）						従業員数 (人)
				建物及び 構築物	機械装 置及び 運搬具	土地 (面積千 ㎡)	リース 資産	その他	合計	
Furukawa Unic (Thailand) Co., Ltd.	本社他 (タイ ラヨ ーン)	ユニック	車両搭載型 クレーン等 生産設備	356	186	253 (31)	—	59	856	192 (29)
Furukawa Rock Drill USA, Inc.	本社他 (アメリカ オハイオ)	ロックド リル	ロックドリル 販売設備	203	90	117 (55)	—	257	669	54 (1)

- (注) 1. 帳簿価額には、建設仮勘定の金額を含んでおりません。
2. 現在休止中の主要な設備はありません。
3. 従業員数の(外書)は、当連結会計年度における平均臨時雇用者数です。

3【設備の新設、除却等の計画】

当社グループの設備投資は、需要予測、生産計画および投資効果等を総合的に勘案し計画しています。設備計画は、原則的に当社グループ各社が個別に策定していますが、提出会社を中心に統括しています。

当連結会計年度末現在における設備の新設、改修等に係る翌年度以降の投資予定額は225億円で、所要資金は借入金および自己資金により充当する予定です。

重要な設備の新設、改修等の計画は、以下のとおりです。なお、完成後の増加能力については合理的な算出が困難なため、記載を省略しています。

(1) 重要な設備の新設等

会社名 事業所名	所在地	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び竣工予定年月	
				総額 (百万円)	既投資額 (百万円)		着手	竣工
古河産機システムズ(株) 小山工場	栃木県小山市	産業機械	排水処理設備	2,130	81	自己資金 および借入金	2024. 4	2026. 11
古河機械金属(株) 本支店他	大阪府大阪市	不動産	ホテル、住宅他	10,449	—	自己資金	2024. 10	2027. 1
山石金属(株) 本社・工場	千葉県野田市	その他	事務所棟および生産設備	1,188	419	自己資金 および借入金	2024. 11	2027. 5

(2) 重要な設備の除却等

該当事項はありません。